

中学生

税についての作文集



平成24年11月12日

発行 熊谷税務署

熊谷税務署管内

納税貯蓄組合連合会

受賞者一覧

- List of award winners including categories like '熊谷市長賞', '熊谷市立玉井中学校', '熊谷市立立南中学校', etc., with names and years.

日本税理士会連合会会長賞

「明日」を守る納税
深谷市立上柴中学校
二年 向井 修吾

税について考える
熊谷市立三尻中学校
三年 海老原 花歩
私はこの作文を書くまで、税金が具体的にどのようなものなのか知りませんでした。ニュースや新聞で「増税」という言葉が、どのくらい増税

しようとして、いるのか全く分かりません。それどころか、商品の価格に余計に上乗せされる消費税について、「どうして消費税を払う必要があるんだろ。」と思ったこともあり、不況の世の中、税金は誰にとっても大きな負担だと思います。そこで私は、身近な税について、考えてみました。

日本は現在、少子高齢化という大きな問題を抱えています。税金を納める若い人が少なく高齢者がどんどん増えていき、今のままで、若い人が支えきれなくなってしまう。このままでは、私達未来の納税者にかかる長期の負担は増える一方です。それにより、福祉の質の低下や年金の額の減少などが起こり、私達が、その年齢になったとき一体どうなるのだろうか、と不安な気持ちになります。

今、国会で審議されている消費税の増税についても注目しています。消費税は、家庭の家計を直撃します。物の値段が上がれば、当然物の買い控えが起こり、その物を作っている企業の収益を圧迫し、そこで働いている人の給与が据え置かれ、あるいは下がり、物が買えなくなるといいます。結果として、経済が悪化していき、企業の収益が下れば、そこから徴収する税金も減り、ひいては税金で成り立っている国の予算にも影響を与えます。今、税収が少なくなっているが、国債を発行して赤字を補っているが、一千兆円にも迫ろうとしている赤字国債を発行し続けている現在、日本の国そのものの将来に不安を感じています。

では、どうしたらいいのか私なりに考えてみました。日本の得意とする先端技術の開発をもっと加速させていくことだと思えます。宇宙開発や医療、環境、食料の分野など、先端技術を駆使して、世界をリードし、日本の産業を活性化させていく必要があると思います。特に、発展途上国などの急激な発展に伴い、問題化している環境分野などは、日本の技術力が役立つと思います。また、バイオテクノロジーを利用し、食料問題の解決にも役立ちます。先端技術の分野は、大企業から町工場まで、その野が広いので、この開発を押し上げることに、雇を増やすこと

ができ、経済全体がよくなり、その結果として税収の増加にもつながると思えます。

税金は、とても大切です。現政権が実施した事業仕分けはともいわず、政策だと思えます。無駄な税の使用を抑え、本当に必要なところに税金を使っていくというのはとてもいいことです。税制について考えているうち、税金の制度はとも複雑で難しいため、もっと学ぶ必要があると感じました。様々な年齢層の人が税金の恩恵を感じられるように、税について考え、日本の力になりたいと思えます。

税金のすゝめ

熊谷市立大原中学校

二年 荒川 実瑠

税金と聞いても、正直なところ私にはあまり関係がないように思っていました。

社会人になって、自分で働くようになってから関係することで、買物をした時に払う、消費税しかあまり耳にしないうので、

「税金はお金を払うだけ。国に納めるだけ」としか思いませんでした。

また、その税金がどのように使われるのか、どうなるのか、ということも考えることがありませんでした。

しかし、私が思っていたのとは、全く違う税金の姿、使われ方を自分の入院、手術という体験を通して知ることができました。

私は小学校6年生の時、約1ヶ月の間、入院をしました。

夏休み中の入院だったので、6年生の時の夏休みの思い出は病院の中で遊んでいたことだけです。でも、病院の先生、看護師さんとはとても親切で、やさしくて、今になってみると、辛い入院生活も楽しかったな、と思ひ出します。1ヶ月の間に、私は手術もしました。4時間位かかり、手術だったので、術後の経過も時間がかかり、入院が長びいてしまいました。

退院するとき母が「本当はいくらぐらいかかっているのかな」と言っていた言葉が気になって、「何でお金払わないの?」と聞きました。すると、「税金で払ってくれるから払わなくてすむんだよ。」と母が言

い、私はびつくりしました。

その時、はじめて集められた税金というものは、こういう時に使われるのだ、ということを知りました。治療にたくさんのお金がかかると、高額医療という制度があり、基準をこえて払った分のお金が戻ってくるそうです。

又、子供医療という制度があり、熊谷市は中学3年生まで、医療費が無料になり、これも税金から出ていることを知りました。

税金は、国民が必ず納めなければならぬもので、払うことばかりだと思っていまいましたが、支払っていただ一人一人の国民のおかげで困っている人が助かり、又、必要とされる物事にうまく振り分けられて使われている事を知りました。

税金は、私達の生活を救ってくれます。

税金のおかげで、私達は不自由なく生活できているのかもしれない。私達がより良い生活を送れるのは、税金を支払ってくれた人々がいる、それを国民の為に考え、使ってくれる制度があるのおかげです。

それを心におき、私は1日1日を大切に、しっかりと勉強と部活をがんばりたいと思えます。

税の使われ方と福祉について考える

熊谷市立熊谷東中学校

三年 大久保 智美

どんなふうにか、何のために税金を支払っていくのかを知る機会に恵まれるのは有意義な事だと思えます。

色々な税金の種類や納め方やそのお金の私達が生活していく上でどんなふうに使われているのかを、これから大人になり、納税者となる私達は、良く知って使われ方を見守って、良く知って使われ方を見守って、納税の義務があると思う方は、納税は、国民の義務だと言う事は知っています。税は、国や地方公共団体が公共サービスを行うのに必要な費用をまかなうために国民に負担を求め、税金に関する法律は国会で日本では、税に関する法律は国会によって定められます。この大切な税の使い道は、国民の代表である国会議員により国会のみで決定され、議員により国会の安全を守り、福祉

社の上を現実化し、生活を豊かにしていける政策と実行力を持った人にまかせたいと思えます。

現実性を持って、私達が納めた税金を誠実な心と賢い選択をもつて使い方を決めてほしいと思えます。

私達の生活の中でどんな風に使われているかを考えてみると、学生である私達に一番関心があるのは、教育の事です。国民の全てが平等に教育を受けられるように、教育費には多くの税金が使われている事を知りました。学校で使われている教科書や机などの備品や校舎の建設や修理も多くの方々が納めた税金が使われている事を知り、今こうして安心して学校という守られた場所で思い切り勉強出来る環境が嬉しい事です。これからは、全ての子供達に必要な教育を安全な場所で安心して受けられる様に守ってもらいたいと思えます。

マルウエー、スウェーデン、デンマークなどの北欧の国では、税金の高負担がありながらも、高福祉が実現されています。北欧の国民のほとんどが社会民主主義者だと雑誌等で読みましたが、収入の半分近くも税金を納めながらも何が幸福なのか、と思いが小さく、教育面でも貧しい生活に生まれても向上心と能力次第で最高の教育を受けられるからだと思います。小学校から大学まで基本的に教育費が無料という事は基本的な制度だと思えます。医療費が無料であったり、失業手当が長期にももらえたり、子ども手当でも支給が安定してなされたり、国によっても違いもあるし、私達が使われ方、北の国では子育ての負担が軽く、なりた職業や夢に向かって希望を持って勉強出来る事が良い所だと思えます。日本と同じ事を望んでも事情が違うとは思いますが、皆が安全な場所で安心して勉強出来る、格差を感じずに自己実現して行ける社会を作っていくためであれば納税の義務は、私達にとって苦しみではなく喜びとなると思えます。そんな意識を持ち社会を作り上げて行けたら良いと思えます。

私達を支える税金

熊谷市立江南中学校

二年 鈴木 梨央

私の住む町。それは、四十・九度という日本一暑い町、熊谷市だ。私は、その熊谷市で、税金がどのような事に使われているのかよく知らなかった。

私は、夢・未来熊谷ジュニア議会に参加する事になった。そして、そのワークショップで、熊谷市の税金の使われ方について、たくさん教えていただいた。今、すべての中学校の普通教室にエアコンを整備する事が行われている。私の中学校でも、毎日暑い中、仕事を下さずにいる。そして、そのための費用に4億1千万円もの税金が使われている。学校の生活がよりよくなるように努めてくれているのだとわかった。これからは、毎日、快適に勉強できるように、税金を納めて下さっている全の方に感謝して、勉強したいと思

また、あつぱれ・天晴・太陽光発電等普及推進事業という太陽光発電システムや高効率給湯器を設置する市民、事業者に対し、設置にかかる費用の一部を補助することが行われている。その事業に使われる税金は、3千5百万円だ。私の家にも、最近、太陽光発電システムを設置した。そして、熊谷市に費用の一部を負担している。他にも、通学路交通安全対策事業で、私達が毎日使う道路の整備や、ムサシトミヨ生息区域保全集中転換促進事業で、ムサシトミヨ生息区域の水質保全を図るため、整備率を向上させている。私達市民のためを思い、暮らして欲しい事業、また環境のことを考えている事業など、税金を、支払って、損をしていくわけがなく、その分、とても良い形で、私達にかえってきているという事がわかった。

税金は、私たちが、「健康で豊かな生活」を実現するために、国や市が行う活動の財源となっている。だから、私も、日々生活しやすいのは、納税してくれている人のおかげである。その中には、顔も知らない人が税金を支払ってくれている。私たちは、一人では、決して生きていけな

埼玉県租税教育推進協議会長賞

熊谷税務署長賞

認め、受け入れ、そして
馴染む

熊谷市立妻沼東中学校
三年 飯塚 夕稀

い。そんな、税を納めている全ての
人に感謝して、これからも生活して
いきたい。そして、私も、消費納
め、社会がよりよくなるように貢献
していきたい。

税金。そう聞いて、私が真っ先に思い浮
かべるのは、消費税である。私
たちが中学生にとって一番身近な
消費税。普段コンビニエンスストア
やスーパーマーケットなどに、様々
商業施設で買い物をするときに、あ
たり前のように払っている税金だ。
しかし、自分が税金を納めている、
という感覚はあまりない。それ位私
たちの生活に定着しているのだ。
現在、日本の消費税率は5%だ。
これは他の外国の国々とは比べると
とても低い税率であることがわか
れる。今まではそれで良かったかもし
れない。だが、これからの日本のこ
とを考えると、このままでは現状維
持さえも困難になってしまう。
そこで、消費税率を5%から8%、
最終的には10%へと引き上げるこ
とになった。
この「増税」に対して、世間は
大きく二つに両断された。「増税?元
談じやない。」という断固反対派と、
「今の世の中に必要なことだから。」
という賛成派の二つだ。どちらかと
いうと前者の方が多かった。
確かに、「増税」が行われると私
たちは困る。今までは一〇五円で買
えた物が、一〇〇円で売られる。本
体価格が上がるれば、消費税も上る。
それは、私たち消費者にとって大き
な打撃となる。
だが私は「致し方ない事だ」と思う。
日本では少子高齢化が進んでい
る。そのため、社会保障の費用が増
加していること、その費用を負担
する働き手が減少していること、大
きな問題が発生した。社会保障の財
源の中心は税金だ。つまり、今の状
態では年金や医療に使う税金が足ら
なくなってしまう、ということだ。

この現状を打破するためには、私
たち自身が変わる必要があると思
う。「どうにかしなくちゃ。」と頭で
は分かっている。自ら動くこと
せずじつとしていて、もうやっ
て解決するのを待っている。何も起
きない。だから、変わることを望む
のなら、まずは自分たちが「増税」
という「変化」を認め、受け入れる
べきだと思ふ。最初は慣れないか
もしれない。だが、次第に私たちの生
活に馴染むだろう。今の「5%」が、
そうであったように。

負担する、というのは大変なこと
だ。しかし、いつか自分たちが「お
じいちゃん」「おばあちゃん」と呼
ばれるようになる頃には「負担して
もらう」「立場になるのだ。今も昔も
そうしてきたことだが、こういう所
に人と人の繋がりをを感じる。
今日の前にある利益に先走って、
大切なことを見失うより、何年何十
年先の未来を見据え、自分がこれか
らどうしたら善いかを考えていくこ
とだ、日本と私たち国民にとって必
要なことだ、と私は思う。

税金の大切さ

熊谷市立上葉中学校
二年 小池 潤一郎

税金は、憲法により納税の義務を負
めるところで、「国民は法律の定
めるところにより納税の義務を負
う」と決められており、国民が公平
に負担するものです。ですから納税
が公平であるために見直しがありま
す。税金の種類も沢山あります。
「国民が納めるお金の種類」は「住
民税」「固定資産税」「事業税」「自
動車税」「軽油引取税」「不動産取得
税」にわかれています。
僕達の暮らしと税金は大切な関係
にあります。僕達が安心して暮らせ
るようにするために、税金は使われ
ています。僕達、児童、生徒一人一
人の教育関係に将来日本を背負っ
て行く責任を持ってもううために、税
金が使われています。

中学生の僕に一番分かる税金は消
費税です。日常、お菓子や文具な
どを買う時、品物の値段の5%を支
払っているからです。最近、消費税
が10%に値上げするよう議会で協
議されているようですが、僕として
はお小遣いが少なくなってしまうの
で、大人になるまで待つてもらいた
いです。

母もやりくりを上手にして家庭を
守っています。国会議員の人達も、
一円も無駄にしないように上手にや
りくりして、国民、国を守って、国
民一人一人が安心して暮らすよう
に努力して行けるように守る責
任があると思います。僕も親から
もらった小遣いを大切に使ってい
たいと思います。そして、親に感謝し
ています。

改めて税金のことを調べてみる
と、あまりにも沢山あって、全部を
理解するには大学で勉強しないと無
理だと思ふ。国民の税金は、無
理に納める国税と地方に交付する地
方税があり、それぞれ国民の声を聞
き公平に使われています。税金は、
国民の義務と国の責任に伴う、パ
ラノスが必要とする関係にあります。
国の一年間の収入を歳入、支出を歳
出といひ、歳入は税金の他、おもに
国債があります。国債とは国の借金
です。でも、借入れた時もお金が手
に入るの、歳入に加えます。国債
には利息がつくので、その分まで返
さなくてはならないので、国債は借
りない方がいいと思います。今の日本
は莫大な借金があります。将来、僕
達が返していかなければなりません
。税金の使い方を、考えてもらいた
いです。

僕には祖父がいます。最近、体
が弱くなり、先ゆき心配です。今は、
老人専門の病院が少な過ぎだと思
います。家族介護を奨励されていま
す。さまざまな事件が起きていま
す。若い時は一生懸命に働いて、国に税
金を沢山納めて国のために尽くして
きた老人に恩を返そうと思うのが自
然です。もう少し多く老人専門の医
院を増やしてもらいたい要望があ
ります。

税のことは、重く、非常に大切な
ことだ。税金に係わる人々の苦勞は
僕が思っている以上に責任が重く大
変な仕事だと思ふ。国民のため、
国のため、頑張ってください。

熊谷税務署管内
納税貯蓄組合連合会長賞

熊谷市立幡羅中学校
三年 瀧沢 純

の、租税教室が行われた。
「税」といわれた。あまり実感が
わかなかったが、実際に僕たちも税
金を払っているし、税金を支えられ
ているんだということを教えていた
だいた。
特に「税金を支えられている」と
いうのは、わかってはいるつもりだ
が、あらためて認識することが多
かった。
例えば、今僕は、涼しい教室でこ
の作文を書いているが、この教室を
涼しく過ごしやすい場所にしてく
れているクーラーは、国民の払った
税金によって設置されたものだ。も
つと通って授業を受けることができ
る現状だ。税金を支えられている
のだ。
学校生活の中だけでも、すぐに税
金の使い道は見つかるが、外に出て
みるとさらに多くの発見がある。
きれいに整備された道路やゴミの
無き道路は、税金を使ってお掃除、処
理されている。事件や火事など緊急
事態に駆けつけてくれる警察や消防
も税金があるからこそ、素早い対応
が可能になっている。
租税教室では「もし税金が無かつ
たらどうなってしまうのか」という
ビデオを見せていただいたが、そ
うでは、道路は穴やゴミだらけ。警
察を呼ぶにもいちいちお金がかかっ
てしまふ。消防車なんかは「消火ブ
ランはどうするの?」と無駄に時間
がかかってしまふ。家が燃えつきて
から到着する始末だ。そのあ
りがたさがわかる。と言うが、税
金もそんなもの一つなんだと思っ
た。
普段は、ありがたさを感じないど
ころか税金を払わなくては行けない
という義務に対して「面倒くさい」
「税金なんか無ければ」とさえ思っ
てしまふ。
でも、こうして不自由なく暮らし
ていること。それ以上に、生きてい
ることが税金によるものだとこの
ことを頭のすみにも入れておきた
い。
今まで、大して考えずに払ってい
た税金だが、これからは、物を買
うときに「税金いくらくらいなんだ
ろ。」というところからは考えるよ
うにしたい。

大里地区租税教育
推進協議会長賞

熊谷市立三尻中学校
三年 山本 亜由美

「国民には納税の義務がある」か
らとはいえ、税金を納める理由や使
い道が分からないと税金を支払いた
くないというのが、大多数の意見だ
ろう。私もその中の一人だ。私達
普段、百円ショップやコンビニエ
ンスストア等で物を購入する際には消
費税を納めている。果たして、税金
とはどういうもので、何のために使
われているのだろうか?
まず、税金の納め方には二種類あ
る。一つは、所得税、法人税、事業
税等が該当する直接税。直接税は、
納税者が国や地方公共団体に直接納
めるものである。もう一つは、消費
税、たばこ税、酒税等が該当する間
接税。間接税は、納税者が直接納め
ず、納税義務者たる事業者等を通じ
て納める税金のことだ。直接税や間
接税にはメリットもあればデメリット
もある。直接税は、納税者の経済
的な負担能力に対し、収入が増えれば
できる。しかし、収入が増えれば、
その分、納税額も増える。消費税の額
が同じなら所得の大きき関係な
く、同じ額だけ納税をすればいいの
だ。
消費税率十パーセント引き上げが
決定した今、我々納税者には負担が
大きいらう。しかし、税金がなくな
らない。私達が納めた税金は、国民
の安全を守る警察や消防、道路、水
道の「国民に役立つ公的サービス」
や年金、医療、福祉、教育等に「社
会での助け合いの為の活動」に使
われている。
二〇一一年三月。突如、東北地方
を襲った東日本大震災。街は瞬時に
して津波に飲み込まれた。震災から
一年以上経った現在も仮設住宅で
生活を余儀なくされている人々は大
勢いる。震災後の日本は、「絆」や「和」
をキヤッチフレーズに復興に取り組
んできた。私達は直接の被害を受け
ていないが、映像や情報でしか状況
を知ることが出来なかつた。そんな

中、協力し、困難に立ち向かっていく日本人の素晴らしさを感じることが出来た。そのような復興支援にも、税金が使われているのだ。

「これまでは私は『税金』と大きく、「必要なのではないか?」、「高い」、「取られる」等嫌なイメージをもっていた。しかし、私達が納めた税金は、国民の安全で快適な豊かな生活を実現する為に、国や地方公共団体が行う活動の財源となつている。私達は一人では生きていけない。税金を納めるということは、国を維持し、発展させていく為に欠かせないことなのである。

埼玉 熊谷県税事務所長賞

身近な税金から

熊谷市立玉井中学校
三年 佐野 実結

私の祖母は、身体障害者で「身障者手帳」を持っています。そのおかげで「税金」で助かることがたくさんあります。

それは、入院・手術・毎日の注射・お薬にかかるとのお金です。

「身障者手帳」が交付される前は、三ヶ月に一度の入院・手術。毎日の太い注射。二ヶ月に一度投与されるお薬。ものすごい金額を払っていました。私はその金額を聞いたとき、とても驚き、また同時に、「こんな大金を払い続ける大丈夫なのか」「いつも笑つてる祖母から笑顔がうばわれたらどうしよう」「日々不安でいっぱいでした。

しかし、ある日祖母が私に「身障者手帳」を見せてくれました。そして、「これからは税金が負担してくれるんだよ」と教えてくれました。仕組みは、月に支払った分月末に払い戻してくれるというものでした。とつてもうれしかったし、とても国に感謝しました。

そして今、国は増税を計画しています。「反対意見の人達も多いですが、私は賛成です。」

消費税が5%から10%になるのは、家計的にはすごく痛いですが、

将来のことを考えてみると増税していただく方がよいと思つたし、増税して助かる人達がたくさんいると思つたらとても簡単だし、すぐにでも始めた方がよいと思つたからです。

反対の人達は、「増税の前にむだ使いをなくしてから!!」と言いますが、私もそれは思います。しかし、増税してからもむだ使いは止められると思いません。

物だから私は増税しても進んでお買い物したいです。そして今までも増税したいへんだつた人が少しでも楽になれるように国は考えてほしいと思います。

熊谷市立熊谷東中学校

私たちが身の周りの税

熊谷市立熊谷東中学校
三年 村杜 千咲

私は今までに「もしも税金がなかったら」と考えた事は、あまりありませんでした。

改めて、私達の日々の生活の中で、税金がどのように使われているのかを考えてみると税金のない社会は、今と全く違う生活になることが分かります。

私達は、当然のように学校に通っています。学校の建設費や机・イスや教科書の購入費は税金でまかなわれています。税金が無ければ学校に通うことができません。通える人はいると思いますが、現在のようには、ほとんどの人が平等に通えるとは限らないと思います。

また、私達は、かぜをひいた時、

けがをした時等、病院に通います。私達は、税金からまかなわれている社会保障費により、低額な医療費で治療が受けることができます。しかし、海外では医療費の自己負担が高額な為には十分な治療を受けることが出来ず命を落とすという聞きま

また、火事や事故が起こった時、消防車、救急車、警察等が来てくれないか大それたか分かんないかと思つた。一昨年、私の母は、交通事故にあい、そして昨年は祖母の家は空きすに入られました。この時当然のように警察を呼んで、事態を解決してもらったようです。少し考えただけで、私達の日常生活において税金が無くてはならないものであることに気が付きます。

最近、消費税の話が話題になっていす。

一つは、少子高齢社会が進むため、若い人の負担が増えると思つておられます。税金の収入源の大部分を占める六十五才未満が減り、六十五才以上の高齢者が増える事になり、医療費など税金でまかなわれるものが多くなると思つた。もう一つは、去年、発生した東日本大震災による復興のための資金不足です。国は現在も多くの借金をかかえている状態です。当然、この状況を改善しなければいけないと思つた。

私達は、このような社会や自然災害からの復興の為に、消費税など増税はさけられないのではないかと

関東信越税理士会 熊谷支部 支部長賞

税の大切さ

深谷市立花園中学校
三年 高田 真由

私はよく買い物に行きます。物が買うたびに消費税が一箱に払うのが損をしているような気がして嫌です。

「でも、なんで消費税があるのだろうか。」

と不思議に思い調べてみることにしました。

まず始めに日本と外国の消費税を比較してみました。日本の消費税は5%と同じ外国は、台湾やカナダで5%、デンマークなどの国はなんと25%でした。私はその数字を見て驚いてしまいました。「消費税は5%という考えが強かったからです。そして、25%も払っている国の人は不満ではないのだろうか、という疑問も生まれました。調べてみると、不満よりもむしろ満足だといふのです。その理由は消費税を払った分、国が還元してくれるからだそうです。日本の消費税・地方消費税は、私たちが老後も安心して生活できるように年金や医療などのために使われているそうです。つまり、消費税は私たちの老後と地域を支えているのです。これを知り、「消費税を払う時、損をしているように嫌」と思うことは無くなりました。

しかし、もしも誰も税を払わなくなったらどうなるでしょうか。まずは、老後の生活を安心して送ることができなくなります。次に、道路や住宅などの整備ができなくなりますます。さらには、教育や科学技術の発展なども難しくなってしまうのです。このように、誰も払わずにいると大変なことになってしまうのです。

また、税の歴史について調べてみました。日本の最初の税は6種類ありました。一つめは、稲の収穫した3%

を納めさせる租。二つめは、絹糸・海産物などの特産物を納めさせる調。三つめは労働もしくは麻布の庸。四つめは労働(一年間で六〇日以下)の雑徭。五つめは防人の兵役。最後の六つめは政府から収穫前に稲を借りて、収穫時に50%の利息を払う出挙がありました。そして江戸時代に入り、年貢を納めさせるようになり、明時代に入ると米で納めていたものが現金に変わります。どの時代も、税は金でも大切な役割を果たしていることがわかります。

今までは、税の大切さについて調べてきましたが、税の大切さがあるのだと不思議に思い調べてみることにしました。

まず始めに日本と外国の消費税を比較してみました。日本の消費税は5%と同じ外国は、台湾やカナダで5%、デンマークなどの国はなんと25%でした。私はその数字を見て驚いてしまいました。「消費税は5%という考えが強かったからです。そして、25%も払っている国の人は不満ではないのだろうか、という疑問も生まれました。調べてみると、不満よりもむしろ満足だといふのです。その理由は消費税を払った分、国が還元してくれるからだそうです。日本の消費税・地方消費税は、私たちが老後も安心して生活できるように年金や医療などのために使われているそうです。つまり、消費税は私たちの老後と地域を支えているのです。これを知り、「消費税を払う時、損をしているように嫌」と思うことは無くなりました。

しかし、もしも誰も税を払わなくなったらどうなるでしょうか。まずは、老後の生活を安心して送ることができなくなります。次に、道路や住宅などの整備ができなくなりますます。さらには、教育や科学技術の発展なども難しくなってしまうのです。このように、誰も払わずにいると大変なことになってしまうのです。

また、税の歴史について調べてみました。日本の最初の税は6種類ありました。一つめは、稲の収穫した3%

編集後記

本年も、熊谷税務署管内の各中学校の諸先生方をはじめ、熊谷税務署のご支援を賜り、中学生の皆さんから6,272作品という多数の応募をいただくことができました。あらためて心より感謝申し上げます。

本来であれば、税について一生懸命書き上げていただいた入賞者全員の作品を掲載したいところではございますが、紙面の都合上、受賞された方の一部の作品しか載せることができませんでした。ご容赦いただけます。

この作文集が、中学生をはじめ、多くの方々に読んでいただき、税についての理解を深めてもらい、関心を持ってもらうことを期待しております。

熊谷税務署管内納税貯蓄組合連合会
〒330-0104 熊谷市宮町二丁目三九
電話 〇四八-一五二-一四六〇〇